

令和5年3月定例会一般質問表

3 / 9、10、13

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求める者
1	3 番 山 口 裕 昭 議 員	<p>1. コロナ禍からの復興について</p> <p>2019年12月に発生した新型コロナウイルス感染症の蔓延による社会活動の停滞から3年以上が経過し、政府ではようやく新型コロナウイルス感染症を感染症分類で2類相当から季節性インフルエンザと同レベルの5類相当へ変更することを5月8日に行うと発表した。</p> <p>この決定を受け、社会活動は今後急速にウィズコロナへと向かいコロナ禍以前の生活を取り戻す方向に動き出すと考えられるが、その一方、3年間の停滞は社会活動に様々な影響を及ぼし、たやすく従来の状況を取り戻すことは困難との声が市民からよく聞かれる。</p> <p>市民の自主的な努力により従来の活動を再開させていくことが基本であることはもちろんだが、一度棄損された活動を復活させることは非常に難しい。</p> <p>このことを踏まえ以下の質問を行う。</p> <p>(1) 市主催のイベント活動の状況について</p> <p>① 市ではコロナ禍以前に観光やスポーツなどで多種多様なイベント活動を行い、交流人口の拡大や地域活性化に寄与してきたと思うが、2019年12月からの3年間で通常通り行われたイベントと規模を縮小して開催したイベント、また完全に休止しているイベントなどの実数を正確に把握しているか。</p> <p>② 4月以降、様々な活動を従前の状況に戻していくことと考えるが、その際、どのような優先順位を設けて再開していくのか。</p> <p>(2) 地域主導のイベント活動の状況について</p> <p>① 地域のイベント活動については、3年間の停滞を経て深刻な担い手の不足や、運営方法に関する継承の断絶でコロナ禍以前の活動を行うことは困難ではないかとの声が聞こえる。</p> <p>このような声に対し、市として対応を検討しているのか。</p>	市長 教育長 関係課長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求める者
1	3 番 山 口 裕 昭 議 員	<p>2. 頻発する豪雨災害への備えについて</p> <p>昨年8月に県内は大変な豪雨災害に見舞われ、特に近隣の川西町や飯豊町では大きな被害が発生した。一方で本市においてはここ数年間にわたる吉野川や織機川の河川改修の効果もあり、大きな被害は発生していなかった。</p> <p>しかし、その一方で内水の氾濫についての対応はまだ道半ばとの印象が大きい。</p> <p>特に、旧国道13号線付近から東側の柵塚から白竜湖にかけての一带や、以前から指摘している上無川が最上川に合流する宮崎地区から下田橋にかけての一带では雨量が増加するたびに内水の氾濫が危惧され、住民が自主的避難を行ったり地元の消防団がその都度水防活動を行うなど大変な苦勞をされている状況が続いており、市民生活を守る観点から早急な改善が必要だと考える。</p> <p>以上の事柄を踏まえ、以下の質問を行う。</p> <p>(1) 吉野川、織機川の河川改修が進み河川の上流域の流下能力が向上した状況で、下流域をそのままにすれば下流域に問題が移行することは自明の理だと思われるが、市では河川を管理する県に下流域の河川改修をどの程度働きかけている実績があるのか。</p> <p>(2) 以前から上無川周辺の治水に関して問題を提起しているが、今までにどのような対策を行っているのか。</p> <p>(3) 旧国道13号線の東側では以前から内水の氾濫が起きやすい地域だが、今まで市では具体的にどのような対策を行ってきたのか。</p>	市 長 関係課長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
2	4 番 島 津 善 衛 門 議 員	<p>1. マイナンバーカード普及とマイナンバーの活用促進 マイナンバー自体は、個人番号を国民ひとりひとりに知らせるために発行された「通知カード」で、すでに全国民に配布済みの個人背番号です。 政府はマイナンバーカードを「デジタル社会のパスポート」と位置づけ、本年度末にほぼ全国民にマイナンバーカードが行き渡ることを目指し、市町村における交付体制の強化を指導してきました。 本市においても市役所での特別受付コーナーや、個別訪問による普及まで努力を続けている状況です。 コロナ禍での一律10万円の給付金をめぐる混乱、事業者支援の事業継続給付金の不正受給問題や、国会で議論されている児童手当拡充の必要性を考えると、中長期的な国民の福祉向上や社会の発展の視点から、税金や社会保障のデジタル化は必須と思います。 私は、監視されるリスクよりも無管理リスクの方が大きいと判断しており、マイナンバーを有効に活用する必要はあると考えます。 しかし、行政と個人情報が共有されることにプライバシーや個人情報が把握・漏洩されるという警戒感や不信感もあり、利用は進みませんでした。 現在も、政府は特典ポイントの発行、健康保険証との一体化、地方交付税の査定などで普及を推し進めていますが、そもそも「なぜマイナンバーの活用が必要なのか」を明確に私たち国民に示せていないのではないのでしょうか。 以上を踏まえて何点かお尋ねします。</p> <p>(1) マイナンバーカードの取得率 本市の全体の取得率（交付率）や業種ごと、年齢ごとなど把握している状況を伺います。また、取得率の阻害要因をどのように捉えておられるか伺います。</p> <p>(2) マイナンバーカードのメリット・デメリット 顔写真付きの本人確認書類となることや、コンビニで行政手続きができるなどのメリットがあり、今後も便利な機能や利用方法が拡大していくでしょう。 一方で、盗難・紛失時に個人情報が漏洩する恐れがあることや、カードの有効期限を過ぎると更新が必要になるなどのデメリットもあります。 マイナンバーカードのメリット・デメリットについて、申請時には、市民の方々にどのような説明を行っておられるのか伺います。</p>	市 長 関 係 課 長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
2	4 番 島 津 善 衛 門 議 員	<p>(3) 個人情報保護委員会の役割 個人情報保護委員会は、個人の権利利益を保護するため、個人情報の適正な取扱いの確保を図ることを任務とする、独立性の高い機関とあります。 個人情報の保護に関する基本方針の策定・推進や個人情報等の取扱いに関する監視・監督を行うとしていますが、行政の所管省庁を伺います。 また、私たちが不正を感じた時の対応はどのようにすれば良いのか伺います。</p> <p>(4) 社会の公平性と効率性 税・社会保障のデジタル化を推進するにあたって、その目的をしっかりと市民に掲げて説明することが重要と思います。</p> <p>① 社会保障の給付に関するさまざまな手続きを簡素化する ② 給付を正しく、速く、確実に受け取る権利を保障する ③ 可能な限り手続きを紙からオンラインに移管する ④ 不正な申請や受給を排除する</p> <p>等です。これからも市民目線の丁寧な説明が必要です。 今後の推進と説明の在り方について 市長のご見解を伺います。</p>	

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求める者
2	4 番 島 津 善 衛 門 議 員	<p>2. 中学校の運動部活動の地域移行</p> <p>スポーツ庁と文化庁は2022年12月27日、「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」を公表しました。2023年度から3年間としていた公立中学校部活動の地域移行の目標達成時期を見直し、「可能な限り早期の実現を目指す」と改めました。</p> <p>2023年度から2025年度までの3年間を改革推進期間と位置付け、休日の学校部活動の段階的な地域連携・地域移行を進めるが、「地域の実情等に応じて可能な限り早期の実現を目指す」としています。</p> <p>以上を踏まえて何点かお尋ねします。</p> <p>(1) 部活動の意義</p> <p>日本には「文武両道」という言葉があります。欧米ではスポーツ、音楽などの課外活動に真剣に取り組んでいる子どもほど均整のとれた人に育つという考え方があります。部活動の意義をどのように捉えておられるか伺います。</p> <p>(2) 令和5年度一般会計予算「中学校部活動の地域移行準備事業」</p> <p>2月4日の山形新聞に、山形市では国の方針に基づく公立中学の部活動の地域移行に関し、2023年度に外部有識者や関係機関の代表者らで構成する検討協議会を設置して対応策を話し合う方向性を確認したとありました。</p> <p>本市でもコーディネーターと準備委員会の設置として1,736千円の予算を計上しましたが、この具体的な内容を伺います。</p> <p>(3) 部活動の地域移行の課題</p> <p>全国で、中学校の部活動の地域移行の取り組み実例を話し合う会議が開かれています。</p> <p>学校外への移行という、これまでとは異なる形で行われる部活動に対して変化する事柄も多く、それに伴ったいくつかの課題も見えてきているようです。</p> <p>様々な課題が検討事項として挙げられておりますが本市では、どこまで検討しておられるか伺います。</p>	市長 教育長 関係課長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求める者
3	9 番 片 平 志 朗 議 員	<p>1. 自然環境の生態系を豊かにするために</p> <p>(1) 駅西の郡山堤の環境浄化の取組みの検証と今後の課題 南陽環境ネットワーク会員達は行政と協働して、2018年～2022年の5年間に渡り、悪臭対策、水質改善に向けて取り組んでこられた。その結果悪臭、水質は共に大幅な改善が報告されています。</p> <p>① 活動の評価と結果の検証はされておられるか。</p> <p>② 今後の課題や方向性は考えておられるのか。</p> <p>(2) 白竜湖の環境保全と消滅を防ぐには 平成28～29年にかけて行われた白竜湖の調査報告書によれば、湖が土砂の流入により水深が年々浅くなり、このまま何も対策を取らなければ今世紀中にも消滅していくと指摘されました。 調査報告書で提言された事を検証し、出来ることから実施していくことが求められています。</p> <p>① その後の検討会や協議会等は開催されておられるのか。</p> <p>② ヒシ除去の効果は。(ヒシの繁茂状況、水質等)</p> <p>③ 各関係機関、団体等、有識者等が集い、今後の方策を検討するためのサミットを開催したらどうか。</p>	市 長 教 育 長 関 係 課 長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求める者
3	9 番 片 平 志 朗 議 員	<p>2. これからのコミュニティ施策について 2030年頃をピークに超高齢化社会がやってきます。社会的な孤立等による孤独死の発生や、地域での自治力の低下、災害時の対応面での課題、空家の増加や都市のスポンジ化など私達の生活を取りまく課題は多い。自治会（町内会）においては、住民同士の関係の希薄化、加入率、担い手不足、役員の高齢化等々の直結する課題があります。</p> <p>これらの課題を乗り越えて、地域コミュニティを再生し、持続可能な暮らしやすい地域を実現するための施策が求められております。</p> <p>① 本市の自治会（町内会）への加入率の状況は。</p> <p>② 地域コミュニティ事業への補助制度はどのようなものがあるのか。</p> <p>③ これから建設が始まる「(仮称) 宮内地区地域交流センター」の運営法式は、コミュニティセンターとして位置づけられるのか。また運営方式はどのようにするのか。 (例・直営方式・従来通り、指定者管理制度活用等)</p>	市 長 関係課長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求める者
4	13 番 板 垣 致 江 子 議 員	<p>1. 南陽市の観光について</p> <p>南陽市の観光も昨年からようやく少しずつ賑わいを取り戻し、桜まつりや菊まつりは市内外から多くの方々が訪れ、様々なイベントも活気を取り戻しております。</p> <p>この度の令和5年度の施政方針では、「発信力のあるまちづくりを進める」とし、観光資源の活用について熊野大社や南陽スカイパークなどの観光需要の高い観光スポットと、食をテーマとした観光コンテンツを結び付け、さらなる魅力向上を目指すとされています。また、赤湯温泉との連携を図り、体験、宿泊を組み込んだ着地型コンテンツの作りこみを行っていると言われています。まずは南陽市の魅力を発信し、来てもらうことは第一。そして次に、いらした方、迎える市民にも満足してもらうことが大事ではないでしょうか。</p> <p>市政運営の基本方針でも、何事にもチャレンジする気概に満ちた南陽市をけん引し、市民が幸せを実感できる豊かな社会を目指すとされています。活気ある、豊かな南陽市のため次のことをお伺いします。</p> <p>(1) 以前から要望されている、観光客や市民が立ち寄れる南陽市の物産館が本当に必要とされている時期だと思えます。買い物をするために米沢や上山に立ち寄るのではなく、市民が頑張っている生産・製造している、豊かな南陽市の物産を求めてもらえる場所が必要です。他団体や組織との連携も含めて、市長のお考えをお伺いします。</p> <p>(2) 赤湯烏帽子山八幡宮の境内に顕彰碑が立てられている、南陽市の偉人「刀工 水心子正秀」氏が、今、若者たちに関心を持たれています。</p> <p>特「刀剣乱舞一花丸一」～雪月華～ ゲームやアニメではありますが、2015年ごろからの全国各地に刀剣ブームを巻き起こす要因になり、2022年に劇場限定上映されました。</p> <p>若者だけでなく、市内外の方に改めて関心を持って、南陽市にお出でいただけるような、宣伝などの取り組みについて市長のお考えをお聞きします。</p>	市 長 関係課長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
4	13 番 板 垣 致 江 子 議 員	<p>2. 地域生活支援拠点の整備について</p> <p>主要施策の「健やかで安心な暮らし・子育てを実現する」の中で、障害のある方の「親なき後」を見据え、障害のある方が住み慣れた地域で生活し続けられる仕組みとして、地域生活支援拠点の整備を進めるとありますが、どのような拠点の整備を考えているのかお伺いします。</p>	市 長 関係課長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
5	8 番 山 口 正 雄 議 員	<p>1. 中学校部活動の地域移行について</p> <p>中学校の運動部活動は、体力の向上をはじめ多様な学びの場として教育的意義が大きく、豊かな人間性を育む基礎になると同時に、我が国のスポーツ振興を支える礎としても大きな役割を担ってまいりましたが、「少子化による生徒数の減少」や「教員の働き方改革」を背景に、休日の部活動を地域に移行しようとするものでありますが、文化庁、スポーツ庁では指導者不足などのため早期の達成が困難な地域に配慮する形で「地域の実情に応じ、できるところから取り組みを進めいくことが望ましい」と当初目標を見直しました。</p> <p>初めての取り組みで、なかなか難しいものがあると考えられますが、本市がどのような考え方で取り組んでいこうとしているのか、次の項目について伺います。</p> <p>(1) 地域移行を進める上での基本的な考え方は。</p> <p>① 中学校単位か或いは三校合同での地域移行か。 また、運動部、文化部すべてを対象とするのか。</p> <p>② 部活動種目を現状のまま移行を進めるのか。</p> <p>③ 地域移行を進める主体はどこか。</p> <p>(2) 地域移行を進める上での課題と対応は。</p> <p>(3) 地域移行を具体的にどのように取り組んでいくのか。</p>	市 長 教 育 長 関 係 課 長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求める者
6	16 番 佐 藤 明 議 員	<p>1. 新型コロナ感染対策と今後の対応について</p> <p>(1) ワクチンの接種状況</p> <p>(2) 市人口の感染者総数、%、率の状況、これまでの対策</p> <p>(3) これまで支援策は（商工業等々）</p> <p>(4) コロナ「5類」移行について</p> <p>① 岸田政権は新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けを、今春に季節性インフルエンザと同等の「5類」に引き下げると表明しました。首相は「平時の日本を取り戻す」と主張しています。しかし、感染状況は予断を許しません。いま第8波の感染拡大で医療・救急体制は逼迫し、一日の死者数が過去最悪の500人を超えるなど深刻な事態が続いています。まだまだ警戒を強めなければいけない時に、首相が5類への引き下げに前のめりになることは、「コロナは終わった」との誤ったメッセージを社会に広げ、感染状況をさらに悪化させる危険があります。</p> <p>感染症法は、感染症を1～5類と「新型インフルエンザ等」などに分類しています。新型コロナは、新型インフル等と同じ位置付けで「2類以上」の措置がとれられています。5類に移行すれば、行動制限や入院勧奨などができる法的根拠がなくなります。岸田政権は5類への移行の際、医療の公費負担を段階的に見直す方針を明らかにしています。ワクチン接種や患者の入院・外来診療、検査などでの国民負担増が懸念されます。医療費の負担増によって受診控えが広がれば、患者の命と健康にかかわるだけでなく、感染拡大を抑制する上でも大きなマイナスと言わざるをえません。医療現場からは公費負担を縮小することに強い懸念が相次いでいます。</p> <p>政府は5類移行後、コロナ患者に対応する医療機関の制限をなくすので、受診できる医療機関が増えるという見通しを立てています。しかし、実際に政府の思惑通りにいかないと声が上がります。発熱外来の設置などをためらった医療機関の多くは、一般患者と動線が分けられない設備上の問題などがあったためです。その打開の方策は示されていません。むしろ政府はコロナに対応する医療機関を支える補助金の削減・廃止をすすめるなど、医療体制強化に逆行する動きを強めています。入院調整</p>	市長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求める者
6	16 番 佐 藤 明 議 員	<p>に保健所や自治体が関わらなくなるため、入院先の確保が一層困難になるとの不安は消えません。公的な支援から手を引き、現場に苦難を押し付けることなどあってはなりません。政府は4～5月の5類引き上げをめざすとしていますが、春までに感染が収束する根拠は全くありません。なぜ、今春なのか、首相のまともな説明はありません。この時期は年度替わりで入学や就職のシーズンで多くの人が移動します。人の移動が増える時期に感染が広がったことはこれまでも何度も経験しています。政治的思惑から時期を決めて感染対策を緩めることは許されるものではありません。</p> <p>政府のコロナ対策専門家有志はコロナのオミクロン株の感染力は季節性インフルよりはるかに高いと警告しています。高齢者を中心に死亡者数が増加しているのは感染力の高さが要因だとされています。その危険を直視せず、国民に正確な情報発信を怠るなど感染を拡大させた岸田政権の責任は厳しく問われています。</p> <p>コロナ感染が広がってから3年、3人の首相の下で国民の命とくらしは危機にさらされてきました。感染症から国民を守る政治への転換が求められております。コロナ「5類」移行について白岩市政のご認識、ご見解を賜りたい。</p> <p>(5) 「コロナ後遺症」と「ワクチン後遺症」の状況について</p> <p>① 「コロナ後遺症」と「ワクチン後遺症」の状況は。</p> <p>② 症状の対策、対処法は。</p> <p>(6) マスク着用について</p> <p>① マスク着用を大幅に緩和する政府の新たな新指針が来月13日から適用されることになりましたが、南陽市での対応はどのようにされるのか。</p>	

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
7	6 番 高 橋 一 郎 議 員	<p>1. オンデマンド型タクシーによる準公共交通機関システムの構築</p> <p>令和5年度の当初予算(案)概要が示されました。その中の【強くてしなやかなまち・住みよいまちをつくる】において、「地域内バス運行事業」と「地域交通総合対策事業」により引き続き市内循環バス3路線からと地域公共交通の確保に係る予算が計上されています。</p> <p>一人世帯の高齢者に限らず高齢者の移動手段の確保は喫緊の課題です。自家用車運転免許証を返納したいがタクシー代を考えると躊躇するという声が多く聞かれます。</p> <p>また、現行の地域公共交通の利用状況や利用できていない地域などの現状を鑑み、市民ファーストの観点から以下のように転換する時期と考えますが市長のお考えをお伺いいたします。</p> <p>(1) 現行バス3路線の利用状況及び満足度状況について</p> <p>(2) 現行おきタクの利用状況及び満足度状況について</p> <p>(3) 3路線バスとおきタクにかかる本市の支出額(令和4年度予算ベース)は。</p> <p>(4) 3路線バスは廃止し、おきタクも発展的にオンデマンド型に乗り換える。スクラップした予算をオンデマンド型タクシーに振り向ける。タクシー会社等と提携し、Door-to-Doorの便利な市民の足を確保する。実施主体や受け入れ体制の構築等、最低1年は必要と思われるが、いかがでしょうか。</p>	市 長 関 係 課 長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
7	6 番 高 橋 一 郎 議 員	<p>2. N T T 東日本（電気通信事業者/指定公共機関）との連携による防災体制の構築</p> <p>(1) N T T 南陽支所の避難所や防災備品等倉庫として活用はできないでしょうか。</p> <p>(2) N T T 東日本との共創による防災カルテの策定 「地域における被災リスクや課題」を可視化することにより、スポット的な課題解決だけでなく、災害対策全体を俯瞰した総合防災対策が可能になります。 N T T 東日本はレジリエンス強化推進プロジェクトを自治体及び協業している地域企業とも連携しながら進めていくとお聞きしております。 強靱で安心な街づくりを実現し、地域住民の安心・安全と地域資産価値向上にもつながると考えます。N T T 東日本は社員を派遣して取り組まれるようですので、ご協力を得ながら防災カルテの策定を行うことはいかがでしょうか。</p>	市 長 関 係 課 長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
8	5 番 高 岡 亮 一 議 員	<p>1. 戦争犠牲者の慰霊を今後どう考えるか。</p> <p>厚労省援護局の統計によると、昭和12年の日中戦争から戦後のシベリヤ抑留までの戦争による死者は、日本軍兵士230万人、民間人80万人、合わせて310万人に及ぶと言われます。この尊い犠牲があつて「平和国家日本の建設」が始まったはずでした。以来77年、われわれ戦後世代が「二度と繰り返してはならない馬鹿げた時代」として教え込まれたはずの時代が、また再現しかねない状況になってきたことを、3年間のコロナ騒ぎの中で痛感させられてきました。副反応の危険が叫ばれる中、8割以上の人が打ってしまうワクチン、顔を半分隠すことが当たり前になったマスク社会という現実を見せつけられた今、竹槍訓練に励み、金属供出のために走り回り、白い土蔵に墨を塗りたくった80年前の先輩日本人を笑うことはできません。</p> <p>戦争で亡くなった方々の悲惨さ辛さは、何よりもその肉親の記憶に深く刻まれて伝えられてきたはずです。しかし当時乳呑み子だった戦争遺児も80歳になろうとしている今、その記憶維持の仕組みが途絶えかねない事態になっています。時あたかも、世界中が「核戦争」の可能性まで含めた「戦争」について、差し迫った現実のこととして考えねばならない時代になってきました。2022年の世界の軍事費は1兆9786億ドル(約260兆円)となり、前年比2.6%増加しました。日本は、ほぼ半世紀にわたってGDPの1%以内にとどめてきた防衛予算を、岸田政権は2027年度にはGDPの2%程度約11兆円にするという方向に舵を切りました。さらに国会では「緊急事態条項」についての論議が始まっています。これが憲法に明記されれば、国会の審議無しの閣議決定だけで基本的人権の制限が可能になってしまいます。日本が正常な判断ができるまともな独立国家であるならば、差し迫った緊急事態に対応するために必要な場合も考えねばならないかもしれません。しかし、現状は違います。私が「緊急事態条項」を危険視するのは、アメリカの言いなりになってのワクチン接種へのなだれ込み、さらには昨年来のロシア非難一辺倒を目の当たりにして、いかに「真実」がないがしろにされた日本になってしまっているかが身に沁みているからです。現状日本における「緊急事態条項」追加の憲法改正は必死で押しとどめねばならないと考えています。そして、過去の誤った時代をまた繰り返すことの愚を防ぐには、何より過去の悲惨な記憶を呼び戻すことが肝要であると考えます。国のために戦って亡くなった英霊として顕彰される方々は、そ</p>	市 長 関 係 課 長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
8	5 番 高 岡 亮 一 議 員	<p>の一方では、悔しく辛く悲しい思いで命を落とした戦争の犠牲者です。二度とこのような体験を繰り返したくはないし、させてはならないと思っておられるにちがいありません。そうした思いに心を寄せつつおたずねします。</p> <p>(1) 南陽市における戦没者慰霊の現状について</p> <p>① 本市各地区で行われてきた戦没者慰霊祭の現状</p> <p>② 東置賜地区の戦没者慰霊祭の現状</p> <p>(2) 現状をふまえた今後について、南陽市としてどう考えているか</p> <p>(3) 「死者の慰霊」は「政教分離」に抵触しないと考えていいか</p> <p>2. コロナ禍の現況について</p> <p>心配していた事態が現実のこととして目の前に突きつけられています。2018年から2020年までの年間死亡者の平均は137万人でした。ところが、2021年は7万人増えて144万人、さらに2022年はほぼ20万人増の156万人以上になっています。2月8日号の週刊誌は《政府・新聞・テレビがひた隠す「ワクチン」と「超過死亡」の因果関係》の見出しで、《追加接種率が高い日本やベルギー、台湾などの国ほど超過死亡が多くなる傾向があった》とし、《超過死亡の激増は現在進行形の危機だ。》と警告しています。厚労省もようやく2月15日付で「新型コロナワクチン接種後の副反応を疑う症状に関する研究への協力について」という文書を各都道府県の担当部局と医師会に出し、ワクチン接種による副反応についての実態調査に乗り出しています。予てからの私の主張通り、新型コロナの2類相当から5類への変更も5月18日から実施されることになっています。「コロナ禍を収束させる山形県民会議」が一昨年の9月議会で提出した意見書請願の通り、あの段階で実施していたら、今のような深刻な事態にはならなかったのにと、私自身の力不足を悔やんでもどうにもなりません。</p> <p>一方、この事態を招いた元凶たるワクチンにどれだけの国費が費やされたのかを聞いて愕然としました。ワクチン購入代金2.4兆円、接種費用2.3兆円が計上されて</p>	市 長 関係課長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
8	5 番 高 岡 亮 一 議 員	<p>います。日本政府はワクチンメーカーと 8.8 億回分のワクチン購入契約を締結しているとされますが、これまでに接種済みのワクチンは3.8億回分。今のところ5億回分1.4兆円分が未使用です。昨年12月の議会中、後期高齢者で持病満載しかもワクチン未接種の私もコロナに感染して予算委員会に出ることができませんでした。熱が8度3分になり気力の減退がありました。重症化することもなく一週間ほどで回復することができ、新型コロナはこの程度と自分なりに納得したところでした。コロナパンデミックの空騒ぎ、その挙句のワクチン被害、さらには莫大な国費の消耗、早く目を覚まさねばなりません。そしてまともな世の中を一日も早く取り戻さねばなりません。その願いを込めておたずねします。</p> <p>(1) 超過死亡について</p> <p>① 南陽市における2018年から2020年までの年間死亡者の平均と2021年、2022年の死亡者数は</p> <p>② 山形県における2018年から2020年までの年間死亡者の平均と2021年、2022年の死亡者数は</p> <p>(2) 新型コロナワクチン接種後の副反応について</p> <p>① 南陽市における副反応の把握状況は</p> <p>② 山形県がこれまで厚労省に報告した「副反応の疑い報告」「重篤報告」「死亡報告」の数は</p> <p>(3) これまでの南陽市におけるコロナ関連経費について。あわせて、その財源について</p> <p>① 感染予防対策関連</p> <p>② ワクチン接種関連</p> <p>③ その他</p> <p>(4) コロナ禍の現況をどう捉え、今後どう対処してゆくか</p>	